

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月17日

事業所名:児童発達支援センターなかま

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・スペースは広いが、一度の登園人数が多くなる日があるので、正規職員が必要と感じる。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・定員に対しての配置数は足りている。実践内容的にはギリギリな時もあり、研修等がやりにくい、頑張っている。 ・職員の急な休みの時に、交代が難しいことがある。 ・仕事をいっぱい抱えていて、回っていなさそうに思う。	・職員の補充を検討している。 ・職員増又は、児童の登録数、利用日数の調整が必要となってくる。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・子ども達にも分かりやすい導線になっていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・子ども達が過ごしやすい空間になっていると思う。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・主に会議などは、正職員が参加して実施している。 ・直接伝える、ノートを活用する、等して工夫している。 ・子ども達のことを情報共有できる時間が、もっとあればいいと思う。	・検討会議の実施時間を工夫し、非常勤職員を含めた職員全員で検討会議できる様にしていきたい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・その都度面談しており、よく話を聞いていると思う。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページで公表しているが、見ていない保護者もいると思われる。	・ホームページに公表していることを、広く周知していく必要がある。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・第三者委員は立てているが、評価の事例はまだない。今後機会を作っていきたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・研修に時間を割けない状況はあるが、できるだけ実施している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・発達検査の結果を日々の支援に活かしている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・年間計画を立てて、行っている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・記録の仕方について、子どもを見る視点が、これだけ良いのかわからなくなることがある。 ・送迎の時間もあり、全体での振り返りをしたら次の支援に繋がられるが、時間等なく、難しい現状。	・職員同士で、記録の書き方等、共通理解を図る必要がある。毎年少しずつ改良している。 ・記録や掃除を効率よく行い、できるだけ、実践の反省の時間を取れるよう努力していく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・記録の仕方の工夫なども行っている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行支援シートを活用して、継続して支援していけるよう頑張っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		センターとして、年2回の研修会を企画運営してきた。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・併行通園で、すでに園生活をしている子どもが多いので、特別に実施はしていない。	・実施は難しい。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・ペアレントプログラムではないが、専門指導の振り返りや面談等で随時伝えている。 ・保護者向けの学習会(発達について学ぶ等)を行っている。	ペアレントプログラムの専門的な知識を得るために、専門家による、スタッフ研修を充実させていきたい。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・主に児発管が中心に行っているが、同じ資格を持っている者が、一緒に対応に携わっていくと良いと思われる。(以下、番号40まで同じ)
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	○		・ボランティアで、国際大学の学生さん達が交流に来た。	・コロナも5類化したので、今後地域に向けた取り組みも検討していく必要がある。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・マニュアル整備はしているが、一部訓練が出来ていない項目がある。	今後、研修の機会を増やしていく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・月に1回の避難訓練を行っている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・入園時に、母子手帳で確認している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・除去食や間違いのないよう、配膳を別にしたたり、お盆の色を変えたりしている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修に参加し、ミーティングの時、全員に周知している。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・契約時、説明同意など十分行っている。	可能性のある児の、計画へ記載をしていく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)